

平成 29 年度 番組審議委員会議事録

1. 開催日時：平成 30 年 3 月 7 日（水） 10：00～11：30
2. 開催場所：霞山会館 祥鶴の間
3. 番組審議委員：総勢 10 名 出席委員 7 名（欠席委員数 3 名）

<出席委員>（敬称略・五十音順）

委員 小池 政行（青山学院大学法科大学院客員教授・聖路加国際大学大学院客員教授）

委員 高島 肇久（株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長）

委員 豊田 沖人（外国文学翻訳士・元 NHK 海外放送 英語アナウンサー）

委員 藤崎 一郎（一般社団法人日米協会 会長）

委員 藤村 厚夫（スマートニュース株式会社 執行役員 メディア事業開発担当）

委員 Marsha Krakower（マーシャ・クラコワー）（聖心女子大学 英語英文学科教授）

委員 森吉 直子（慶應義塾大学 商学部教授）

※欠席委員

委員 柴原 早苗（放送通訳者・大学講師）

委員 Phillip Brown（フィリップ・ブラウン）（学習院大学外国語教育研究センター教授）

委員 牧野 琴子（字幕翻訳家）

4. 審議内容

① 下記審議対象番組についてのご意見、ご感想

◆ニュース

「ニュースデイ Newday」ニヶ国語放送 2018 年 2 月 1 日(木) 10：00 放送

◆ドキュメンタリー

「ワヒードの闘い 国境を越える医療支援 Waheed's Wars - Saving Lives Across the World」日本語字幕付き放送 2017 年 10 月 27 日(金)17：00 放送

「日本北部の自然と文化 Japan's Northern Wilderness」日本語字幕付き放送 2017 年 4 月 8 日(土)13：30 放送

5. 議事概要

<「ニュースデイ」についてのご意見>

- ・BBC の中国編集長が男女賃金格差で辞任したニュースについて、良くぞ報道したと思う一方で、本人と会長のインタビューは報道しているが、組合や一般人の意見、イギリス社会の受け止め方までを報道していないのが残念。
- ・BBC が BBC を批判する姿勢は良い。
- ・BBC ワールドニュースは他のメディアに比べて平等なイメージがある。
- ・ロンドンとシンガポールが拠点だが、その意味をあまり感じない。アメリカのニュースが多いので英米を拠点にしても良いのでは？
- ・メイ首相訪中のニュースは、Brexit を含めた真の訪中の意図が視聴者に伝わらない。焦点がボケた印象だった。
- ・一つ一つのニュースをもっと掘り下げて欲しい。以前の BBC ワールドニュースより、浅い印象を受けた。
- ・歴史のふりかえりは良かった。
- ・「トランプ演説を専門家が分析する、という題材は良いが、専門家のコメントがトランプ大統領の手振りだけにフォーカスしたもので、演説の内容自体に関する分析ではなかったことを物足りなく感じた。BBC であればもっと本質的な深く濃い分析ができたのではないか。
- ・30 分間で、世界の多様なニュースを見られるのは良い。
- ・BBC は公平公正をモットーにしているので、安心感を持って視聴が出来る。
- ・トランプの一般教書演説の各メディアの捕らえ方の違いを一緒に伝えて欲しかった。
- ・同時通訳は上手く追っていたと思う。日本の視聴者にとって、同通・翻訳は非常に大事な事。

<「ワヒードの闘い 国境を越える医療支援」についてのご意見>

- ・医療の専門家からしても素晴らしいアイデアを BBC が報じてくれたと思った。拡散すべき番組。
- ・非常に素晴らしい内容だと思う。ワヒードの今後の活動も追って欲しい。
- ・良く出来たパッケージ。
- ・内容が良いので、アーカイブ化するなど、放送後の視聴手段を作って欲しい。
- ・BBC の他のドキュメンタリーも見たいと思った。
- ・学生達にも見せたい。
- ・若い世代にも見やすい環境を作って欲しい（アプリ、オンデマンドなど）。
- ・3 月～6 月は就活のために、学生がまじめな番組を見る時期なので、BBC はおススメだ。
- ・移民問題が悪い意味で目立つヨーロッパで、移民のサクセスストーリーを作るのは、英国らしい。
- ・英国を売り込むのが BBC は上手。
- ・BBC の No.1 プレゼンターであるジョン・シンプソンをナレーターに使うのも意外性があったて感心した。
- ・爆破された BBC のカブールの運転手を追悼したのも感心した。
- ・ニコ動など、プラットフォームを探してはどうか？
- ・内容が素晴らしいので、離島の医療に役立てるため行政や、教育機関を通して子供たちに見てもらいたい。
- ・日本人は移民問題に慣れていないため、移民一人に焦点を当てる手法は視聴者に問題が伝わりやすい。
- ・大学など教育機関に教材として売って欲しい。
- ・NHK の世界のドキュメンタリーに番販するのはどうか？
- ・今後視聴者層は高齢化するるので、逆に若い世代に見てもらおう投資、アクセスを考えて行くべきでは？

<「日本北部の自然と文化」についてのご意見>

- ・自然学者と金メダリストの夫婦が東北を車で回る紀行という、良く出来た、英国らしい作品。
- ・リサーチに時間をかけたと思われ感心した。
- ・雪の中のドローンの撮影が効果的。
- ・日本人が知らない日本の秘境を訪れているので驚いた。
- ・非常に良く出来た作品。パート2も観たい。
- ・BBCは自然物、動物物が得意。
- ・出演者の夫婦のリアクションが自然で、英語の教材に使いたい表現が沢山あった。
- ・オリンピックに向け、このような自然・動物が関係する親しみやすい内容を学生に見せて英語力を養うのが良い。
- ・BBCの撮影の哲学（空撮ヘリの陰や、撮影側の存在は絶対に入れない等）が徹底していて素晴らしい。

<その他のご意見>

- ・審議委員会の冒頭の進め方について：事前に活動内容の資料を送ってもらい、年間報告はハイライトを数点のみで良いのでは？
- ・番組選定方法の提案（Brexit、ヨーロッパ事情、映像）。
- ・番組の選定方法・主旨を、事前資料に記載して欲しい。
- ・審議委員会を現行の年1回だと活動内容が分かりにくいので、年2,3回に増やして、1回の会を短くした方が効果的では？
- ・同時通訳は、時間帯・初見かリピート放送などで、質が変わるのですか？→（BBC回答）ニュースはすべてライブ放送なので、初見となりますが、繰り返し報道されるトピックに関しては、事前にある程度把握した上で同時通訳ができます。
- ・同時通訳者の話し方の癖が気になる時がある。
- ・日本の放送局では扱えないニュース（北朝鮮情勢など）を詳しく伝えて欲しい。
- ・審議委員も日常的にBBCワールドニュースを視聴した方が、より正しく審議が出来るのでは？

<ご欠席された委員からのご意見>

- ・ニュースデイは、多様性に富んでニュースの本数も多く充実していた。
- ・日本人唯一のキャスターである大井真理子さんの今後の活躍を楽しみにしている。
- ・同時通訳は、良く追えていたと思うが、もう少し明るめの声の方が良いのでは？
- ・同時通訳者と翻訳者の名前を表示してもらえると、本人の励みになる。
- ・日本語字幕について、クオリティの高さを感じるが、話し言葉は前時代的な表現が一部見受けられた。時代に合った、日本語訳を付けることにより、より完成度の高いパッケージになると思われる。

以上